

放課後等デイサービス自己評価票（事業所評価）

平成30年10月

事業所名		こども通所支援事業所はなのうら				
チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
環境・ 体制 整備	①	○		指導訓練室等、目的別に使用出来る部屋を4室有しており、利用児を適切に受け入れることができます。		
	②	○		各部屋の用途に合わせて職員配置を工夫し、死角が出来ないようにしています。		
	③	○		平成29年5月の建て替え時に、バリアフリー化に十分配慮しました。		
	④	○		遊戯室等を4部屋有し、十分なスペースが確保されています。また、目的別に使用できるように、部屋ごとに環境設定しています。		
業務 改善	⑤	○		会議や毎日の打ち合わせの際に職員全員で目標設定し、業務を振り返りながらその都度改善しています。		
	⑥	○		アンケートを通じて保護者の意向を把握し、結果をもとに、職員全員で検討し、業務改善につなげています。		
	⑦	○		事業所内に掲示しています。また、はなのうらのHPにも載せています。		
	⑧		○		第三者評価を受審していません。	今後、外部評価機関などの外部評価の受審体制を整えば、受けたいと考えています。
	⑨	○		障害特性をより理解できるような支援についての研修をパート職員も受講しています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、利用児と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		年2回、アセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。	
	⑪	利用児の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		市内共通のサポートファイルの活用ができていません。 市内共通のサポートファイルを有効に利用できるよう検討していきます。
	⑫	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「総則」の「基本活動」を複数組み合わせた具体的な支援内容が設定されているか	○		おやつ作りやごっこ遊び、創作活動など利用児が主体的に活動することで楽しみながら成功体験できるように工夫しています。	
	⑬	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		利用児の自主性を尊重しつつ、集団ルールが守れるよう環境を整備し、職員が統一した支援を行うようにしています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動プログラムについては、職員全員でミーティングし、毎月の案と毎日の案を作成しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動プログラムを職員全員でミーティングし、内容を工夫しています。	
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		休日や長期休暇は平日ではできない体験を中心に計画をたて、その中で一人ひとりにあった課題を設定し小グループに分ける等支援をしています。	
	⑰	利用児の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		利用児の特性や状況を踏まえて、個別活動や集団活動のバランスを考えながら作成しています。	
	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝のミーティングで細かく打ち合わせし、確認しています。	
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎等もあり、支援終了後ではなく、翌朝のミーティングにおいて前日の振り返りを行い、気付いた点を共有しています。	
	⑳	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録を正しくとることを徹底し、その記録をもとに検証・改善を行っています。引き続き、サービス会議や日々のミーティングで行っていきます。	
㉑	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年2回、モニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)	
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等		
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用児の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		出席前には、利用児の状況をスタッフ全員で詳細に検討し、利用児を担当する職員が参加しています。		
	23	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、利用児の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		毎学期、情報交換会議を行ったり、月始めには下校時間の確認を連絡するなど、こまめに情報の共有を行っています。		
	24	（医療的ケアが必要な児童や重症心身障害のある児童等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			現在、医療的ケアの必要な児童や重症心身障害のある児童の利用はありません。		
	25	（医療的ケアが必要な児童や重症心身障害のある児童等を支援している場合）利用児の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			現在、医療的ケアの必要な児童や重症心身障害のある児童のご利用はありません。		
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に利用していた保育所等から相談事業所へ提供された情報については、可能な限り共有できるようにお願いしています。		
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供と相互理解を図っているか	○		相談事業所主催の会議等で提供したり、直接の依頼にも出来る限り提供するようにしています。		
	28	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センター等主催の研修には積極的に参加するようにしています。また、児童発達支援センターを利用している利用児については連携し、助言を受けています。		
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない児童と活動する機会があるか		○		利用児の特性もあり、現状では困難ですが、入所者や児童との交流の機会はつくって行きます。	機会があれば交流していきたいと考えています。
	30	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		管理者は、防府市子ども発達支援部会の会長であり、部会や防府市地域総合支援協議会に参加しています。		
	31	日頃から利用児の状況を保護者と伝え合い、利用児の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者とは、連絡帳や送迎の際の会話を通じて、利用児の状況や課題について共通理解を図るよう努めています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
保護者への説明責任等	32		○	ペアレントトレーニングの研修にも参加し、研修の成果を踏まえて支援に努めています。	保護者のご要望に応じて行っているため、保護者全員に行っていません。	ペアレントトレーニングがどのようなことなのかお知らせするところから周知していきたいと考えています。
	33	○		契約の際、また質問があった際には説明をしています。		
	34	○		放課後等デイサービスガイドラインの「総則」の基本的姿勢及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ています。		
	35	○		相談があった際には、必要な助言が出来るよう支援しています。		
	36		○		保護者会は開催していません。	保護者会の開催については、必要性や保護者の要望があれば、対応していきたいと考えています。
	37	○		苦情相談窓口を設置し、苦情や相談には、担当職員が、迅速かつ適切に対応しています。		
	38	○		「はなはな日記」を定期的に作成し、活動概要等を保護者にお知らせしています。 また、日々の連絡帳に写真を添えるなど、きめ細かく情報を発信しています。		
	39	○		当事業団の「個人情報保護規程」等に基づき、利用児ケース記録等は鍵付ロッカーで保管するなどの対応を行っています。		
	40	○		利用児に合わせて、絵カードや写真等を利用した支援を取り入れ、より理解が進むよう配慮しています。保護者の方にその状況を送迎時や連絡帳で報告し、共有できるようにしています。		
	41	○		スヌーズレンの一般開放デーを月に1日設定しています。		

チェック項目		評価		評価理由等		改善方策等 (改善内容又は改善目標)
		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点等	
非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを分かりやすく施設内に掲示し、周知を図っています。	
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月、本体と一緒に避難訓練を行っています。	
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		保護者に確認しています。 服薬については利用の際に服薬表の記入をお願いし、服薬の報告を行っています。	
	④⑤	食物アレルギーのある利用児について、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		指示書の提出をお願いしていますが、提出していただきません。 アセスメントの際、アレルギーのある利用児については、医師の指示書の提出を保護者に徹底します。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットをもとに報告書を全員回覧し、情報を共有するとともに、業務改善を図っています。 また、園内で開催されているリスクマネジメント委員会に参加し、事例の分析・共有にも努めています。	
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止のポスターなどを、目につきやすいところに掲示したり、人権・虐待防止に関する園内研修に職員が参加しています。	
その他	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用児や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		利用児や保護者に事前に丁寧に説明し、同意書を頂いて支援計画に記載しています。現在、拘束事例ありません。	
	④⑨	送迎サービスについては、利用児の特性等を踏まえ、安全に配慮して実施しているか	○		利用児の状況に応じて、運転手の他に職員を配置するなど、安全に配慮しています。	
	④⑩	食事サービスについては、利用児の体格や年齢、嗜好等を考慮して提供しているか	○		家族の情報をもとに管理栄養士のアドバイスを受け、体格や年齢に応じた量、障害特性・発達段階に合わせた食事形態で提供しています。	